

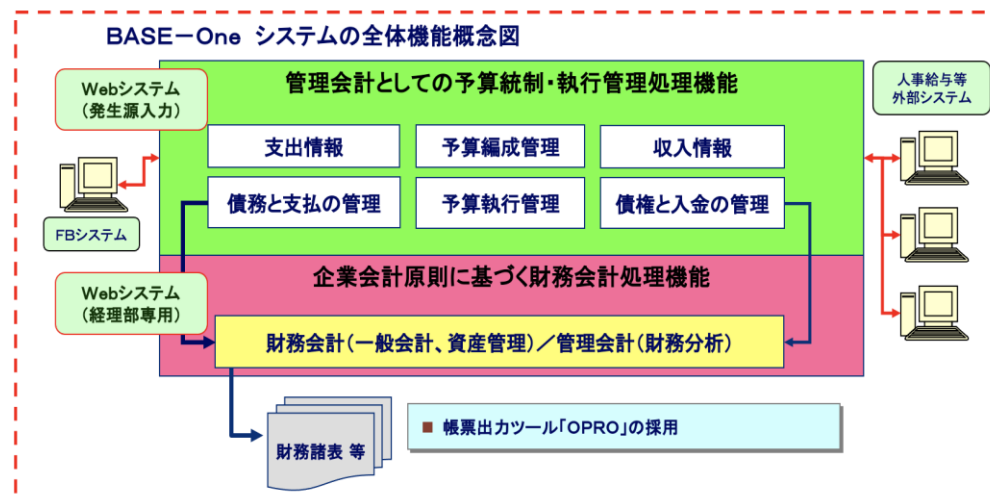
BASE-Oneシステムのあらましと背景



BASE-Oneシステムは、独立行政法人会計基準、独立行政法人会計基準注解、公益法人会計基準等に準拠し、事前統制を主眼とする予算の執行管理に重点を置く官庁会計(管理会計)システムとしての機能と、企業会計原則に基づいた発生主義・複式簿記による制度会計(財務会計)システムとしての機能をシームレスに融合し、統合的な会計業務処理に対応した新しいタイプの財務会計システムです。また助成金や補助金の執行をする企業・団体・自治体など助成金執行時に適用も可能です。

課題

- 予算と実績の乖離
- 経営の意思決定への財務データ活用
- 各部門から月次決算資料収集の大きなタイムラグ
- 管理会計の機能不足による非活用
- 他面多岐な分析が困難
(部門、財源、プロジェクト、社員毎 etc)
- 予算と実績の差分の関係部署への報告遅延



BASE-Oneによる課題を改善できる機能

- 1, 目的別・形態別・財源別・プロジェクト単位等で予算編成や予算執行に係る稟議・決裁・相見積から事業者選定、契約締結などの文書管理機能を実現
- 2, ワークフローでのリアルタイムな予算執行・引当管理と全ての処理に対して柔軟に設定可能なワークフローと決裁機能
- 3, 処理内容に基づいた結果情報を元に振替伝票(仕訳)を自動的に生成し、財務会計・管理会計のデータとして総勘定元帳を始め財務諸表を自動的に展開